十、經過

七月七日以來寄々協議の結果同二十一日午前中會社側に前記要求をなし二十三日江口勞務主任に會見を申込みたるも全員では面會出來ずと拒絶されたる爲二十四日午前一時炭坑夫組合組織準備會の名を以てビラを全納屋に配布しれ。

二十四日午后二時第一回會見。會社側はこのビラ撒布に狼狽し從業員の動搖を慮り江口勞務主任、並市川坑内主任が代表占部源市と會見して鑛夫の問題に就ては將來考慮すると同答し合宿主の問題には觸れずして會見を終りたり。

代表は一應引揚げ一同と協議をなし左の要求を決議した。

一、鑛夫募集に關する件

イ、會社募集の場合一ケ月合宿人最少數三十人を限度とし萬一三十人に滿たざる場合は一人一ケ月五圓を會社より補助せられたし

財團法人 協調會福岡出張所